

# 市議会だより

発行 五條市議会 編集 議会広報編集委員会  
平成 27 年（2015 年）2 月 1 日

# GOJO

No.54



雪の藤岡家住宅

## 五條市議会第4回12月定例会の概要

平成26年第4回12月定例会は、12月2日に開会し、初日には、会期を17日までの16日間と決定したのち、市長から、9月から12月までの市政の報告と本定例会に提出する議案の説明を受けました。

本定例会には、子ども・子育て支援法及び児童福祉法の規定に基づき各種基準を定めた関係条例の制定を始め、五條市消防団員等公務災害補償条例の一部改正、市道路線の認定、町区域の変更、平成26年度一般会計及び介護保険特別会計の補正予算、五條市監査委員の選任などの重要案件が市長から提案されました。

また、議会からは、意見書、農業委員会委員の推薦などを提出して慎重な審議を行うとともに、5日と8日には9人の議員が一般質問を行い、12月17日に閉会しました。

また、正・副議長の辞職に伴う選挙とともに常任委員会等役員の改選を行いました。

## 目次

三役紹介・委員会構成・意見書・決議	2ページ
一般質問	2～6ページ
表決結果と議決結果	7ページ
視察研修・組合議会の報告	8ページ

議長・副議長の辞職に伴う選挙が行われ投票の結果、議長に窪 佳秀議員が、副議長に福塚 実議員が、また、監査委員には宗部康寛議員が選出されました。



窪 佳秀 議長

常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の委員は、次のとおりです。

(◎は委員長、○は副委員長)

※新庁舎建設特別委員会、自衛隊駐屯地誘致特別委員会委員は改選しませんでした。

**総務文教常任委員会**

- ◎吉田 正 ○養田全康
- 益田吉博 山口耕司
- 福塚 実 平岡清司

**厚生建設常任委員会**

- ◎岩本 孝 ○牧野雅一
- 大谷龍雄 吉田雅範
- 窪 佳秀 宗部康寛

**議会運営委員会**

- ◎吉田雅範 ○牧野雅一
- 益田吉博 吉田 正
- 平岡清司 養田全康

**地域活性化及び五條駅南北海道建設促進特別委員会**

- ◎山口耕司 ○福塚 実
- 大谷龍雄 岩本 孝
- 窪 佳秀 宗部康寛

**議会改革特別委員会**

- ◎吉田雅範 ○平岡清司
- 益田吉博 吉田 正
- 牧野雅一 養田全康

**議会広報編集委員会**

- ◎吉田 正 ○養田全康
- 吉田雅範 岩本 孝
- 牧野雅一 平岡清司

**CLTの普及促進による林業・木材産業の活性化を求める意見書(概要)**

CLTの普及促進による林業・木材産業の活性化を求めため建築基準を整備し、技術研究を更に進め、日本の風土・気候に合った設計・施工技術の確立、技術者の養成を図るとともに、大規模な生産拠点を整備して、量産体制を確立するよう意見書を採択し、内閣総理大臣・農林水産大臣・国土交通大臣に提出しました。  
※CLTとは、直交集成材のことです

**経営所得安定対策に係る適正な事務執行を求める決議(概要)**

平成26年第4回12月定例会の一般質問において、農業者に対する平成25年度の経営所得安定対策における米の直接支払い交付金が未払いになっていることが判明したことから、市当局に対しては、職員間の情報の共有及び危機管理意識を徹底し、多大な迷惑を掛けた関係者各位に対し、誠意を持った適正かつ迅速な対応を強く求める。

**一般質問**

**山口耕司 議員**

**地域活性化につながる五新線の活用について**

山口 「幻の五新鉄道」は、五條市と和歌山県新宮市を結ぶ夢の鉄道として一九三七年に着工され、昭和46年(一九七二)天辻トンネルが完成したものの、昭和57年(一九八二)経済情勢により工事が完全にストップしました。

その後、49年間続いた路線バス運行もトンネルや橋りょうの老朽化を理由に平成26年(二〇一四)9月末に廃止され、交通利用としての役目を終えた五新線の現状について尋ねます。

**産業環境部長** この道路には、様々な歴史があり、貴重な地域資源である。安全を確保した上で検討していきます。

**山口** 地域活性化につながる政策について市としての考えを尋ねます。

**産業環境部長** 「幻の五新鉄道跡

」として特別な存在感を持つこの路線は、観光資源としての魅力が大きいと考え、危険箇所は修繕や維持管理費等を勘案しながら、今

定例会では、議案に係らず市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。

後の活用を考えます。

**山口** 今後、地方創生の目玉政策の一つとして注目されるのが、地域でつくる小規模なエネルギー会社の設立です。未利用バイオマスや太陽光、風力、中小規模水力などを活用しエネルギー会社をつくることで、地域経済が活性化し、地元雇用を生む起爆剤となります。

農山漁村地域ではバイオマスなど生成に必要な天然資源を多く保有し、再生可能エネルギーを活用するには最適な場所といえます。

しかしながら、実際、天然資源が潤沢な地域に再生可能エネルギーの投資をするのは都市型の企業が圧倒的に多く、地方企業は全体の20%超にすぎない。そのため、投資対象となった地域の収入は、地代および固定資産税などに限られ、モノは増えるがカネやヒトが増えていません。これは、地方を疲弊させてしまう典型的な現象といえます。

だからこそ、地方自治体が発露となつてエネルギー会社をつくる必要があるのだと提言をさせていただきます。

## 平岡清司 議員

### 消防団活動について

**平岡** 消防団全車両中、20年以上たっている車両は何台あり、今後どのように更新するか尋ねる。

**危機管理監** 消防ポンプ車15台、小型動力ポンプ35台、合計50台配備している。車両登録年月日が古い車両から順次対応していく。

**平岡** 新入団員の制服、活動服は4月の入団で何月頃支給できるか。

**危機管理監** 8月頃の支給となる。  
**平岡** 4月に入団しても服がなければ活動ができない。1月頃に入札して業者を決め、4月には支給していただきたい。また制服も5年に一度は見直して欲しい。

**危機管理監** 消防団活動が速やかに行える体制を整えるために必要と考へ財政状況を踏まえ検討する。  
**平岡** 消防署移転に伴い五條市中央地区は消防団員空白地区となり、これをカバーするのに、第一分団、1部、2部に空白地区で団員を募集して人数を増やし活動をするのが良いのではないかと尋ねる。

**危機管理監** この地区は消防団員が不在な状況から消防団と協議し、結果を踏まえて自治連合会会長と

も協議し、地区自主防災会の支援強化も含め当該地区在住の消防団員確保に向け協力依頼をした。

**平岡** 現在入団希望者が少なく各分団は非常に苦勞しているが、今後どのように考えているのか尋ねる。

**危機管理監** 全国的に消防団員の高齢化、団員不足が懸念される。自らの地域は自ら守るといふ基本理念に従い、今後も消防団の充実強化と自主防災会との連携を図る。

### 中央公園について

**平岡** ふわふわドームの時間帯変更について尋ねる。

**都市整備部長** 来年度より4月から9月までの期間は午前9時から午後5時までに変更する。

**平岡** 売店や飲食店等の設置について尋ねる。

**都市整備部長** 売店や飲食店等を設置するのは申請を行い公園管理者の許可を受ければ可能である。仮設テントでの販売も市の審査を受け許可を受ければ可能である。

**平岡** 中央公園前の空き地について、幼児用プール建設としての考へを尋ねる。

**都市整備部長** 幼児用プールの建設は、上野公園市民プールの運営を含めて総合的に検討する。

## 窪 佳秀 議員

### 地域防災計画の周知について

**窪** 見直しをされた地域防災計画の関係者・消防団員への周知について伺う。

**危機管理監** 防災会議委員や関係機関等に配布し周知するとともに市職員については職員初動マニュアルを作成し各課長より周知徹底を図り、消防団員については、消防団幹部会議を通じて研修を行い周知徹底を図る。

**窪** 見直しにより計画書ができて内容が理解できず、行動できないれば意味がない。計画どおり行動ができる研修と訓練を行う必要がある。訓練等を繰り返すごとに計画書にそぐわないところを見直し、実際に沿う計画書が出来上がると思うが、考へを伺う。

**危機管理監** 計画書が絵に描いた餅にならないよう市職員・消防団員等関係機関への周知徹底を図り、継続的に訓練を繰り返すことにより防災・減災に取り組んでいく。  
**窪** 市民にも啓発を行い自助の促進に役立つものを中心に防災教育を行い、万一の場合の災害に対する備えを進めていただきたい。

### 観光行政について

**窪** 外国からの観光客の誘客が必要と思うが、市では外国人観光客数は把握しているのか伺う。  
**産業環境部長** 外国人の観光客数は把握していない。

**窪** 外国からの観光客を呼び込むため、海外の観光旅行者を市に引きPR活動を行い誘客のための観光資源発掘を求めてはどうか。  
**産業環境部長** 県内では奈良市を中心に北中部に外国人観光客が集中しており市内への訪問は少ないのが現状である。今後、旅行者と連携し、観光客誘客のヒントを得ながら集客に勤める。

**窪** 五万人の森公園広場に山の名前が分かる看板の設置及び五条駅から新町通り、大和二見駅までの道路にカラー舗装を行い観光ルートのご案内に役立ててはどうか。  
**産業環境部長** 五万人の森公園における看板は協議を行い検討する。

また、観光ルートの案内については、現在スマートフォン等の普及により地図アプリ等を利用しながら目的地に到着できる。誰でも簡単に目的地に到着できるように街の景観に配慮しながら看板等の設置に向け検討していく。

## 吉田 正 議員

**旧北宇智駅舎等の跡地利用について**

**吉田** 旧北宇智駅は、スイツチバツク駅であったが7〜8年前に無くなり、その姿は見る事ができない。今は草に覆われ、景観も悪く地元からは何とかならないのかとの声も上がっている。市は、このような状況は把握していたか。

**産業環境部長** 相当な広さで残されていることは承知していた。

**吉田** J Rは売却の方向であると聞いているが、市としてこの用地の確保について、いかがお考えか。

**産業環境部長** 当該用地を確保する計画は今はない。

**吉田** 交通アクセスも充分な、これらを観光構想に入れる考えはないか。

**産業環境部長** 駅舎・線路も含めこれらの残された施設や近隣の史跡等も含めて考えていきたい。

**吉田** 金剛山を背景にする北宇智地区の観光開発に市長はいかがお考えか。

**市長** 金剛山も含め大事な観光資源である。今後も計画性を持って進めていきたい。そのためにも、地元でも盛り上げていただきたい。

## 老朽放置危険空家について

**吉田** 本市においても老朽放置危険空家が多く見られるようになった。市はどのような対応をしているのか。

**産業環境部長** 該当家主に通知及び指導を行っている。

**吉田** 三宅町などでは該当家主に指導・勧告を行い、同意した場合に上限30万円の補助をする条例があるが、本市としては条例制定の考えはあるのか。

**産業環境部長** 先に制定した市や町を参考に検討していきたい。

## 農業施策について

**吉田** 厳しい農業環境の中、現在行っている中山間直接支払制度があるが、平成27年度が更新時期と聞いているが支払い金の増減また算定基準の見直し等はどうなっているのか、また、本市が行っている施策はどういったものか。

**産業環境部長** 中山間直接支払制度については、平成26年度と同等と考えている。また、算定基準についてははまだ出ていない。本市が行っている施策には、青年就農給付金といった施策がある。

**吉田** 市独自の更なる施策をお願います。

## 牧野雅一 議員

**改修工事期間中の診療について  
(県立五條病院)**

**牧野** 県立五條病院の改修工事期間中の診療継続を要望した件について、見通しを尋ねる。

**すこやか市民部長** 敷地内に仮設診療所を設置し、休院中の地域医療を確保できるよう、県担当課と協議に入っている。診療科目は内科と整形外科になる。

**牧野** 内科と整形外科以外の科目の診療についても、受診環境を整えるよう要望する。

**新病院完成後の通院手段について  
(南奈良総合医療センター)**

**牧野** 平成28年7月の南奈良総合医療センター開設に伴い福神まで通院される、特に高齢者が中心となる交通弱者の市民の通院手段についての取組・計画を尋ねる。

**市長公室長** 地域公共交通会議に諮り、近鉄福神駅に向けての実証運行を開始予定である。利用者に配慮する意味でも、病院への乗り入れを要望する。南奈良総合医療センターの通院者にできる限り不自由を掛けない運行形態を考える。

## 水道事業会計の将来性について

**牧野** 水道事業を取り巻く財政運営は厳しくなると思うが、将来的に財政的な不安が無いかな尋ねる。

**水道局長** 大滝ダムが供用開始され暫定水利権がなくなり安定水利権の獲得に国庫補助金4億円、市出資債4億円と一般財源5千万円、水道局持出し分4億5千万円、合計13億円の費用負担となり一部を除いた金額が受益者負担(市民)となる。水道料金改正に向け委員会を設立し進めてまいる。

(その他の質問)

- 1 大塔町の復興について
- 2 教育を通じたまちづくりについて
- 3 五條市の将来設計について  
(住民の高齢化対策ソフト面)
  - ① 住居対策ほかについて
  - 4 国道の維持管理について
    - ① 排水溝・枯れ落ち葉などについて
    - 5 ごみの受入態勢について
    - ① 現状の時間帯・職員数などについて
    - ② みどり園無き後の中継地の時間帯・職員数などについて
    - 6 過去・現在・今後の財政状況について
- (その他の通告(時間制限のため、未質問))
  - 1 政治姿勢について
    - ① 公平・公正ほか